

さくら



令和6年11月11日(月)

明るい心と前向きな気持ち

インフルエンザが、例年より早く流行入りしました。沖縄ではかなりの流行となっています。大阪においても流行は時間の問題でしょう。罹患して苦しい思いをする前に、手洗い、マスクの着用を励行し、可能であれば予防接種を受けましょう。とくに3年生は。今年は「フルミスト」という鼻にスプレーするものもあり、注射が苦手な人も大丈夫かと。（病院に要確認）



上手くいかないことがあると、心が後ろ向きになってしまうものです。そんなことが続くと、気が滅入（めい）ってしまい、何をやっても駄目だ、などと思ってしまいがちです。ネガティブ思考が頭を支配すると、自信まで失ってしまいます。このような思考は避けたいものです。

人は生きている限り、失敗もしますし、辛いことも避けて通れません。

平安時代のお坊さんで、真言宗の開祖、空海（弘法大師）は著書の中で次のように言っています。

「心暗きときは、即（すなわ）ち遭（あ）う所悉（ことごと）く禍（か）なり」

→ 暗い心が禍（わざわい）を呼び込むんだ。

「冬の凍（こおり）、春に遭えば即ちそそぎ流る」

→ 凍（い）てつく冬の氷も、春になれば水になって流れていく。

これらの言葉どおり、困難な状況に遭遇した時こそ、明るく前向きな気持ちでいる方がよいのです。そして、季節が移ろいゆくように、苦しいこともいつかは終わる時が来ます。明日への希望を忘れず、今しなければならないことに邁進していきましょう。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

